

# 交響曲〈五月の歌〉をうたう合唱団ニュース ③ 2008年6月

■2008年日本のうたごえ祭典〈五月の歌〉事務局 TEL 03(3200)4977 FAX 03(6801)7399 E-mail : utago60@ky.main.jp

——60周年日本のうたごえ祭典・記念音楽会にむかって——

\*\*\*\*\* 交響曲〈五月の歌〉をうたう合唱団が正式発足 \*\*\*\*\*

## 5月17日(R'sアートコート) 第1回東京合同練習&結団式が行なわれました!

5月17日の第1回合同練習&結団式には各ブロック・合唱団から80名をこえる参加。

三多摩青年合唱団の峯崎さんの発声指導につづいて、今回〈五月の歌〉東京合同の指導をお願いする栗田博文先生による合唱練習。初めての合同ということもあって合唱団の側はちょっと緊張ぎみでしたが、栗田先生のユーモアにあふれ、かつ歌の内容に迫った的確な指導の中で、合唱団もその音楽の中にどんと引き込まれ、短時間の練習でしたがとりあえず〈五月の歌〉の全曲を歌いきりました。

(この日の栗田先生の感想は「うたごえ新聞」6月2日号に掲載)

**現** 在、2008祭典〈五月の歌〉東京合唱団への申込み・登録は250名にせまる数になっています。(ただし団費納入は約120名)

先日、本番会場の日比谷公会堂に行ってきたがやはり古い建物で舞台が狭く、舞台監督の塚野さんの計算ではオーケストラと一緒の場合、合唱団の山台に乗れる定員は250人が限度…ということでした。もう一度、舞台の使い方を検討してもらっていますが、このままでは全国(特に愛知の仲間)からの合唱参加は無理か?という状況もあります。すでに外山先生との本番を歌って「今度は東京で」と意気込んでいる皆さんには「もう少し東京の合唱団の参加状況の整理をふくめて時間をください」とお願いしています。

**こ** のことを含めて東京の合唱団の責任は重大です。「今こそ憲法を輝かせて～」という2008年祭典のテーマを一番明確に歌い上げる交響曲〈五月の歌〉の内容を、外山雄三先生の指揮でオーケストラと共いうたう——ということの意味をもう一度深く自覚しながら、それにふさわしい音楽づくりを責任を持ってすすめたいものです。

## 真摯で力に満ちた音楽・演奏づくりを 東京の合唱団の全力でやり遂げよう!!

**そ** のために事務局からの提案として——

- ・各ブロックでの練習会を責任を持ってすすめるために各合唱団指揮者・指導者による連絡会議を開き合同練習までの間のブロック練習を充実させること。(各指揮者が入れ代わりで出かける交換練習などもそれぞれの刺激になるか?)
  - ・東京全体での合同練習は回数が少ないが、祭典活動全体を見るとこれ以上増やすことは困難。そのために、合同練習には必ず全員が参加して、栗田先生の指導のもとで一緒に緻密な音楽づくりをめざす。
  - ・また、外山先生の特別練習と当日リハーサルについては当然「100%出席」とする。一を徹底したいと考えています。
- ぜひ各ブロック・合唱団で討議して、意志統一をすすめていきたいものです。  
よろしくおねがいします。

(文責・〈五月の歌〉事務局 長 服部)

### 【速報!!】

### 11月 外山雄三先生をお迎えして の特別練習日程が決まりました!!

11月23日・記念音楽会の本番指揮者であり交響曲〈五月の歌〉の作者のお一人でもある外山先生をお迎えしての「特別練習」の日程が決まりました。

外山先生からはこの間「練習は私が一番信頼している栗田さんにお任せしているから合唱団の皆さんとは本番当日だけでいいんじゃないの?」とのご返事もありましたが、全体責任者の島袋さんなどから熱烈なコールを送った結果「当日舞台上る合唱メンバー全員が揃うなら、私が指揮を振って練習することにも意味がありますね」と快諾して頂きました。

\*\*\*\*\*

### 〈外山先生・特別練習日〉

11月9日(日) 午後を予定しています

※練習会場は現在あたっていません

この日を今から予定して100%の出席  
で外山先生をお迎えしましょう!!